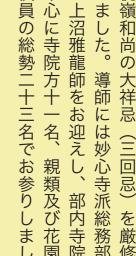
## 「先住桃嶺和尚大祥忌」

役員の総勢二十三名でお参りしました。 中心に寺院方十一名、親類及び花園会 の上沼雅龍師をお迎えし、 しました。 嶺和尚の大祥忌 十月六日 導師には妙心寺派総務部長 日 午前十時より、 (三回忌) 部内寺院を を厳修致 先住



報

会





日程表、 今月二十三日の達磨忌です。 る二月の本 實相寺は十名の割り当てを頂 先月号でもご案内 申込用紙も同封致 山団体参拝旅行の しま たが しま 今回旅行 切は、

ますが、 未だ申込者は僅少の為、

い方は、 東海庵の石庭、 宜しくお願 また一休寺の精進料理も 襖絵なども拝観致します りますが、 お参り下さいますよう、 山に参拝されたことの無 頂きますの 今回は寒 是非この機会に 普段未公開 い時期では い致します。 お楽しみに 龍泉庵

Tel087-889-3838

實相寺花園会

〒761-0450

一日発行

無相

発行所

元妙心寺管長 明治三十三年一昭和六十三年 太室 山東 田無文老大師

迦様のみ教えが伝わった瞬間でした。 訶迦葉に付嘱す」 尊者のみニコッと微笑んだそうですて示しました。すると一人、摩訶迦 妙心実相無相微妙の法門あり。 するとお釈迦様は に、何に言わず黙って一本の花を拈り 無相大師や妙心寺の名前の由来です。 ある日、お釈迦様は霊鷲山で弟子達 と仰いました。 「我に正法眼蔵涅槃 摩訶迦葉 お釈

読者は僧侶や寺族です。 『中外日報』 掲載のコラム最終回です。

経営学者のドラッカー が『非営利組織

日本版のまえがきで、 「最古の非

にあ 営利組織 った」 (NPO) と述べているのは大変興味深 はかつての日本の

とコミッ 利組織のミッションには、 いことですが、 トメントの三本柱が不可欠だそ ドラッカーによると非営 機会と卓越性

うです。 例えば、 私達のミッション が仏教を未

實

はなく、 来に伝えることだとすると、 という機会は必ずしもマイナスばかりで そこには新しいニーズもある筈 小子高齢化

です。 また仏教がこれまで培ってきた思

なる のです。

対する配慮に欠けた僧侶の言動が

問題と

う問題では

な

い

ぐ

U

よう。

要は

は周囲に

さらに自らを省みる事は重要です。

例

報

自分の物ではありません。基本的に僧伽 本来托鉢して頂いた食べ物は全て

では食べ物は皆で平等にシェア しかし現代の寺院は夫々が独立した法人 経営は主に住職に依る所となり、 ,します。

が仏教的でしょ 結局今や僧侶の価値観も一般社会と何ら ともすると寺院 見当然の事の様ですが、 自己責任という風に考えがちです。 らうか。 の存続も各住職 これは一 はたしてそれ 例ですが、 の努力次

変わらな

い

の

ではな

い

でしょうか。

で

すから未来に仏教を伝えて

為に

辺の

思う所をお話させて

頂きます

問題は私達僧侶が仏教にコミットメ るだけの卓越性もあると思います。 想や文化に はそう したニー ズ に十分応え ただ

しているか否かでしょう。

的な価値よ 仏教にコミットメントするとは、 りも仏教的価値を優先するこ

とで、 まさに三宝に帰依することです。

を優先してきた歴史がありますが、 日本仏教は伝来以来、 戒律よりも世間法 それ

でも明治以前は大乗戒がありま いした。 りこ 現

こに一つの問題があると思われます。 在ではほぼ無戒状態ですので、やは

実的ですし、 ただ今さら肉食妻帯を禁ずるのは非 住職よりも寺庭さんの方が

壇信徒から信頼されている場合もありま ĺ١

すので、 単に結婚さえ しなければ良

切なのは、 討する余地があります。 は、 れるには、 べきだと思います。 その為には組織や法人のあり方も検 私達は 私達自身が如何に仏教的な生 人も資金も流動性が必要で もっと本質的に仏教的 幅広 しかし何より大 く人材を受け で あ す

目に務めてい 夫々が小僧時代に教わった事を日々真面 仏教を未来に伝える為には、 くしかないのだと思います。 先ず第一

活を送っているかでしょう。

結局それは

に私達僧侶のあり方が重要な ていれば良いかというと社会構造や家族 でもありません。 では不十分なようです。 のあり方が変化した今、 しかし昔ながらにや 達磨忌では やはりそれだけ のは言うま そ っ